



コルネリオ会

(キリスト者自衛隊員の会)

ニュースレタ No.99

2002年 6月

「軍人キリスト者」国際大会雑感(その二)

コルネリオ会名誉会長 工学博士 今井健次

4. Wright Patterson (オハイオ州)

米国オハイオ州デイトンにある Wright Patterson 米空軍の航空研究所に出張する事になっていたの、当地の米OCFの会員であるJ.Silliman空軍大尉のお世話になる事になった。1976年7月18日午後5時頃家内と共に空港に着くやSilliman夫妻が出迎えて下さった。早速車でお宅に向かい、初対面ではあったが旧来の知己の様に懇切な対応を受けた。夫人は大変穏やかな方であったが、甲斐がいしく家事を行い、子供達の世話もしておられた。明朝は8時半には大尉の案内で研究所に向かい、部内の施設を見学し、担当者ともお会いしてその日の行事を無事終わる事が出来た。午後は大尉の知人の農家を訪ねる事になり、教会の牧師二人を乗せて四人で30マイル程離れたコロンバスの町の郊外までドライブすることになった。その農家には日本人の青年が一人実習に来ていたが、目下その牧師たちの教会がその青年に伝道しているの、その青年が日本の青森県の家に戻った時には世話をしてほしいという事であった。私も突然で驚いたが、その牧師たちの宣教に熱心なものにはほとんど感心した。そこでは牧場を見たり、馬に乗ったりして大陸を味わう事が出来た。その日家内は朝からSilliman夫人と共に近くの託児所に手伝いに行って来たとの事で、退屈する暇は無かったようである。次の日、デイトンの町を案内して頂き10時頃空港に着いたが、別れ際大尉に Your wife is excellent. と言ったら、大尉は大喜びで愛想を崩して、大声で I am happy. と言った。数年後別の国際大会で Silliman 少佐に会った時、当時の事を忘れないで、大変親しくして下さいました事を思い出す。

5. ロスアンゼルス

1982年4月 アメリカの集会に出席した途中、丁度イースターの休暇の季節に入ったので、その間米OCFの知人から紹介された、ロスアンゼルスに居られる Holt House 氏をお訪ねする事になった。氏は同じOCF会員で、今は退職して Union Rescue Mission というキリスト教施設の支配人をしておられる方であった。約束の時間に家内と二人でバス停に着いたら、その施設の係りの方が居られて、その施設まで案内して下さいました。Holt House 氏は忙しいので、この方に内部を案内して頂き、丁度昼時だったので施設の大食堂で多くの人達と共に食事をした。この団体は困窮者を支援するキリスト教の施設で毎日約300人の困窮者に食事を支給するとの事で、若干の宿泊施設も有るらしい。注 アメリカでは景気の変動があると直ぐ失業者が出るので、そのような時この施設が役に立っていると言う事であった。夕方になって Holt House 氏にお会いし、お宅まで連れて行って頂いた。家には奥様と3人の大きな子供がおられた。今日は教会で特別礼拝があると言うので、夕食後全員で参加する事になった。夕食の時困窮者の話が出て、日本には居ないかと言うので、日本にも居るが警察が取り締まると言ったら驚いていた。しかしこれで良いのかどうか、国情とは言え大変な問題である。大きな教会の特別礼拝では、美しい制服の聖歌隊もあった。聖餐式には数人の長老が奉仕し、会衆は四人ずつ前に出て行って個別に祈りながら陪餐するので、それだけで二時間近くかかり、家に帰ったら十時半を過ぎていた。翌朝主人は6時に出勤というので忙しく、子供たちを学校に送った後、市の中

心部まで送ってもらう。奥様は忙しいらしく、お昼頃の決めた時間にまた迎えに来てもらう事になった。午後は教会で Good Friday の礼拝があると言うので、行って見ると子供達も既に到着。礼拝が終わってから色々な人に紹介された。そこに日本に行っていたという婦人宣教師もあり、皆で写真を撮ったりして、

交わりのひと時を持つことが出来た。我々は予定の夕刻のバスに乗り、忙しい一日を終わる事ができた。

(続く)

注：日本は生活保護法で、困窮者保護が行われ無宿者など支援する基督教団体が多数存在する。

2002年AMCFアジア大会プログラム及び講師紹介

来る8月15日～17日までの間、グランドヒル市ヶ谷で開催される「AMCFアジア大会」のプログラムと奉仕される講師の方々の紹介をさせていただきます。大会開催まで2ヶ月を切りました。皆様の祈りにおぼえていただきますようお願い申し上げます。

8月15日(木)

1330	大会受付
1730	歓迎夕食会 (ホサナ邦楽アンサンブル演奏)
1900	開会礼拝(池田博 牧師) 「和解の使者としてのクリスチャン」 エペソ2:14~16
2030	各国報告会(1)

8月16日(金)

0630	早天祈祷会(木島正敏 牧師) 「キリストの使者」 コリント5:17~6:2
0800	朝食
0915	聖書講演(平野耕一 牧師) 「ビジョンの力」
1045	各国報告会(2)
1200	写真撮影
1230	昼食
1330	自由時間
1730	歓迎夕食会
1900	コンサート(森祐理 姉)

8月17日(土)

0630	早天祈祷会(徳梅陽介 牧師) 「主の御前に覚えられる生き方」 使徒10:1~8, 33~44
0800	朝食
0915	聖書講演(高木康俊 牧師) 「静と動の聖霊の働きのバランス」 使徒の働き1:3~8
1100	閉会礼拝(趙南洙 牧師) 「主の霊に生きる」 サムエル16:13~14
1200	送別昼食会
1400	解散

講師紹介



池田 博 牧師

1937年 東京生まれ
1967年 東京聖書学院卒業
1969年 本郷台礼拝教会の
開拓伝道を開始
小学校PTA会長4年、民生委員
9年等、地域に根ざし牧会伝道
を実施中。
現在 本郷台礼拝教会主任牧師



木島 正敏 牧師

1973年防衛大卒業その後 The
Bible College of Wales を卒業
元 LMI 世界宣教会宣教師
モンゴル・ウランバートル「永
遠の光」教会牧師
現在 本郷台礼拝教会宣教師
LMI 世界宣教会北アジア
担当理事



平野 耕一 牧師

1944年 東京生まれ
東京聖書学院、
テネシー州立大学
デューク大学神学校卒
アメリカで17年間牧会
現在 東京ホライズンチャペ
ル牧師



徳梅 陽介 牧師

1958年 北海道生まれ
琉球大学法文学部卒
東京キリスト神学校卒
現在 日本同盟基督教団
馬堀聖書教会牧師



中央大学法学部卒
元検察庁検察事務官
西南学院神学部専攻科卒
元日本バプテスト連盟議長

現在 蓮根バプテスト教会
主任牧師
(医療伝道に従事)

高木 康俊 牧師



1950年 栃木県宇都宮市
に生まれる。
1973年 防衛大卒業
(17期生)
1977年 ウェールズ聖書学
校(イギリス)卒
業

現在 本郷台キリスト教会
教育牧師

月井 博 牧師



聖潔大学神学部卒
改革神学校、延世大学校連合
神学大学院修了
ノックス神学校卒
月刊「日々のみことば」発行
編集代表
日本同盟基督教団国外宣教
委員長

現在 招待キリスト教会牧師

趙 南洙 牧師



京都市立芸術大学音楽部声
楽専修卒
NHK「くらしのチャンネル」等
リポーター、キリスト教TV「ハーベ
ストタイム」レギュラー出演中
CDアルバム7枚、シングルCDを
リリース
現在 クリスマン・アーティ
スト

森 祐理 姉

2002年度 総会報告

6月15日(土)、市ヶ谷で2002年度コルネリオ会総会が実施され、下記のような報告と議決がなされました。議決内容(役員選出を除く)に対し異議のある方は会宛て1ヶ月以内に申し立ててください。

2001年度(01'6~02'5) 報告

1 2001年6月9日に総会・修養会を開催した。

(1) 総会で会長・役員を選出した。

会長	石川信隆
副会長兼総務	中野久永
渉外(国外)	矢田部稔
渉外(国内)	滝口巖太郎
広報	山本浩、園林栄喜
会計	長濱貴志
監査	今井健次

(2) 修養会で中野兄、加瀬兄、上林氏の証があった。

2 月例会の実施

(1) 月例会において、担当者が「使徒の働き」から聖書講解を行うとともに、役員会を開催し、特にアジア大会の準備について審議した。

(2) 場所を銀座福音センターから市ヶ谷会館本館に移した。

(3) ホーア大佐のご厚意によりオーストラリア大使館で開催し、昼食をご馳走になった。

(4) 2002年1月14日(月)ピアシー大佐とビッグ少佐の来日があり、コルネリオ会員との交わりの時をサンノーホテルで持った。

3 アジア大会の準備

(1) 開催時期・場所を決定した。2002年8月15日-17日、グランドヒル市ヶ谷

(2) 講師や賛美者等を決定、パンフレットを作成し、国内外に発送した。

(3) S M C F (シンガポール軍人キリスト者会)のライ会長にアジア大会参加を要請した。

(4) 2001年10月本郷台キリスト教会の礼拝に石川兄姉が出席して、礼拝後池田牧師・月井牧師・木島宣教師に挨拶した。

(5) 2002年4月蓮根キリスト教会の礼拝に石川兄が出席して、礼拝後高木牧師に挨拶した。

(6) 賛美集の作成を加瀬兄に依頼した。

(7) 2002年4月27日現在で国外約100名、国内約30名の参加予定

4 国外の研修会に参加した。

韓国でのInteraction'01に中野兄が、韓国軍人聖会に石川兄姉が。

5 防大聖書研究会を開催した。

毎月、徳梅牧師によるメッセージと質疑応答を実施した。

6 広報活動を実施した。

コルネリオ会ニューレターを年3回発行した。クリスマン新聞の正月号、イースター号、クリスマス号などに広告を出した。

7 渉外活動を実施した。

(1) アジア大会のパンフレットを国内外に発送

(2) 故池田先生、故岡田成正兄、故堤健男兄、

故安永稔兄に弔電等を送った。

- 8 アジア大会のため、金 学根宣教師が積極的に支援して下さった。

2002年度(02'6~03'5) 議決

1 会長・役員を選出

会長	石川信隆
副会長兼総務	中野久永
企画	伊藤忠臣
会計	長濱貴志
広報	圓林栄喜
渉外	矢田部稔
監査	加瀬典文
名誉会長	今井健次
教職顧問	月井博
教職顧問	金学根

2 会則の改正

コルネリオ会会則を以下のように改正した。

- (1) 名称: 自衛隊員キリスト者会(JOCU)から防衛関係キリスト者会(JMCF)へ
(2) 会員の定義の中に、賛助会員を新たに加えた。
第5条 本会の会員は、正会員・準会員及び賛助会員とし、それぞれは、次のうち本会の目的に賛同し、入会の意志を表明したものとす。

正会員: 自衛隊員(自衛隊を退職した者を含む)であるキリスト者

準会員: 自衛隊員(自衛隊を退職した者を含む)である求道者
正会員の家族であるキリスト者

賛助会員: 本会に支援・協力するキリスト者または求道者

改正後の会則は次号で報告致します。

3 事業

- (1) 2002年AMCFアジア大会を成功させ、主に栄光を帰する。
(2) 国内外の研修に積極的に参加する。
(3) コルネリオ月例会を開催する。
(4) 聖書講解
1) 使徒の働きを引き続き、学ぶ。
2) 必要に応じ教職の指導を求める。
(5) 会計
1) 大会のため、広く献金を募る。
2) 大会予算が満たされるように祈る。
(6) 広報・連絡
1) コルネリオニュースレターを発行(年3回)
2) ホームページの充実、E-mailの積極的な活用
(7) 渉外
1) 国内外にアジア大会をアピールする。
2) AMCF各国及びACCTS等とコンタクトを保つ。
(8) 祈り
1) アジア大会のために国内参加者が増え、予算が満たされるように祈る。
2) アジア大会により会員が増えるように祈る。
(9) コルネリオ会会員名簿を整備する。

2001年度決算及び2002年度予算
次号で報告致します。

アジア大会決算について

1 予算内訳

宿泊費・食費	5,000,000
謝礼等	850,000
招待者航空運賃(7名)・送迎費	1,180,000
ツアー関係	300,000
通訳システム	750,000
会場費・機器資材費・事務通信費	1,500,000
大会記念品代・予備費	500,000
報告書・記念写真代	700,000
合計	10,780,000

2 現在までの収入(2002.6.15現在)

大会参加費(3万円×86名)	2,580,000
献金(海外特別献金含む)	2,311,863
合計	4,891,863

3 差額

大会参加費:	5,000,000 - 2,580,000 = 2,420,000
献金:	5,780,000 - 2,311,863 = 3,468,137
合計:	10,780,000 - 4,891,863 = 5,888,137

上記のとおり、588万円が不足しています。

このアジア大会予算が満たされますように、どうぞお祈りください。

皆様のご意見、ご感想をお待ちいたしております。
匿名でも結構です。自由なご意見をお寄せ下さい。
(編集子)

コルネリオ会広報室(JMCF)

〒327-0001
千葉県市川市二俣 678 22 棟 201 号
(発行責任者 圓林栄喜)
インターネットホームページ
<http://www.bekkoame.ne.jp/~hiyamamo/>
電子メール: User183066183@aol.com
献金
郵便振込口座 00130-3-87577 コルネリオ会
銀行振込口座 三井住友銀行 柏支店
普通 7425742 コルネリオ会